

(安全チェックシート)

[露店開設者の皆様へ：露店を開設するにあたっての注意事項について]

以下のことに注意し、内容をよく把握しておいてください。

消火器について

- 消火器の設置場所を覚えてください。
消火器が設置されている場所を自分の持場から近い順に2か所以上覚えてください。
- 消火器の使い方を覚えてください。
使い方は、消火器の本体に明示されていますので、必ず確認して操作手順を覚えてください。

対象火気器具等について

- 対象火気器具等の周辺は、よく整理清掃して可燃物を接して置かないでください。(上方1m、側方15cmの離隔距離を設けるようにしましょう。)
- 対象火気器具等は、常に監視できる状態で使用し、その場を離れるときは必ず消してください。
- 対象火気器具等にある取扱い上の注意事項を守り、故障または破損したままで使用しないでください。
- カセットコンロを使用する場合、鉄板で上を覆ってカセットボンベが過熱するような調理方法をしないよう注意しましょう。
- 薪、炭等を使用する場合は、火気付近を整理整頓し、みだりにそばを離れないようにし、終了後は残火及び取灰の後始末を行い、みだりに捨てないようにしてください。
- 暖房器具を使用する場合は、可燃物との距離を十分保ち、暖房器具を付けたまま、その場を離れないようにしてください。また、燃料を注油するときは、火を消してから行いましょう。
- 電気器具を使用する場合は、たこ足配線を避けてください。
- 地震時には、対象火気器具等の使用を中止してください。
- 終業時には、対象火気器具等の点検を行い、安全を確認してください。

喫煙について

- 喫煙は、周囲に火気等の無い場所とし、露店等の近くでは喫煙しないでください。
- タバコの吸殻は必ず水の入ったバケツなどに捨て、可燃ゴミの中には絶対に入れないでください。
- 終業時には、吸殻の処理(水の入ったバケツに捨てる)を確認に行ってください。

危険物の取り扱いについて (該当 非該当)

- 危険物(ガソリン、軽油など)を会場内に持ち込む場合は、必要最小限の量とし、また必ず指定数量の5分の1未満としてください。
- 危険物を使用するときは、小分けして使用し、容器の蓋は常に閉め、火気に注意してください。
- 危険物を貯蔵し、又は取り扱う場合は、消防法令に適合した容器(金属製の容器であることが必要)を使用してください。
- 携行缶のキャップを開ける前には、火気や高温部から離れ、換気の良い場所に移動し、周囲に人がいないことを確認してから圧力弁等を操作して圧力を抜いてください。

- 危険物容器の保管は、直射日光及び火気等の近くを避け、温度が上昇しないように保管してください。
- 万一危険物を流出させてしまった場合は、少量であっても回収・除去を行うとともに、周囲の火気使用停止や立入りの制限を行ってください。

発電機について (該当 非該当)

- 燃料漏れがないことを確認した後に使用してください。
- 事前に燃料を十分に注油し、露店等の開設後に、なるべく注油の必要がないようにしてください。
- 可燃性ガス又は蒸気が滞留するおそれのない場所で使用してください。
- 安定した平らな場所で使用しましょう。
- 雨などの水が掛かる場所で使用しないようにしましょう。
- 発電機の排気が、携行缶、ポンベ及び可燃性の物品に当たらないように注意しましょう。
- 発電機を稼働したまま注油又は移動させないようにしてください。

液化石油ガスについて (該当 非該当)

- LPガスポンベ（以下「ポンベ」という。）は、直射日光及び火気等の近くを避け、通気性の良い場所に設置しましょう。
- ポンベは、絶対に横置きにはいけません。
- ポンベは、倒れないよう固定し、人がみだりに近づかない安全な場所に置きましょう。
- LPガスを使用する器具及びゴム製のホースは、必ず機器に適合したものを使用しましょう。
- ゴム製のホースは、ガス漏れがないか点検し、古くなったもの及びひび割れや亀裂のあるものは使用しないでください。
- ゴム製のホースは、適正な長さで取り付け、ゴム製のホースと火を使用する器具の取り付け部分は、ホースバンドその他これに類するもので締め付けてください。
- ゴム製のホースは、2本以上接続しないでください。
- 1本のポンベから2以上の機器に分岐してLPガスを供給しないでください。（ただし、分岐したものと開閉弁を設ける場合はこの限りではありません。）
- LPガスは、空気より重いため、屋外であってもガス漏れには十分注意しましょう。
- 緊急時や使用後は、ポンベのバルブを閉めましょう。（時計回り）

緊急時

- 緊急時や異常事態が発生した場合は、必ず防火担当者に連絡を行い、状況を伝えましょう。
- 周囲で火災を発見した場合、消火器で初期消火を行ってください。
- 警察機関や警備会社と協力し、観客等の避難誘導にあたってください。